

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人万灯会 まさき園		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年 12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と職員との関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独通園の方は月に1回、親子で活動する『まさきのね』を計画し単独通園のすがたを親に知ってもらうことと、職員を知ってもらう機会になっている</li> <li>・親子通園は活動に参加しながら職員に相談する場を設けることをしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス単位で親子活動の機会を設け、気さくにご家族様が職員に話ができる機会をつくるために、職員で準備していく</li> </ul>
2	活動場所の環境が充実している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室以外にも遊戯室や園庭を活用して体を使った遊びがダイナミックに取り組めるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭で発育に合わせた遊び道具を備える(自転車、三輪車、など)</li> </ul>
3	ご家族様の個々の要望にお応えしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事形態など要望がある場合は2次調理をして対応している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も要望があった場合には職員と検討・周知して可能であれば対応していく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団活動の目的のあるお子様に対する取り組み	3グループで活動しているがグループの特色を明確にしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1グループは『全体の指示が理解して行動する力。子ども同士でのコミュニケーション力をつける(社会スキルを身につける)』2グループは『対人関係の構築、個別で大人の指示を「みる、きく」の意識をつける。』3Gは『身の回りの生活の行動、自ら実行する力をつける。大人との関係を構築する』を目的に実施する</li> </ul>
2	保護者同士がつながる場がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手帳の取得や検査などの情報が交換できる時間と場の提供ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主が親となって話し合える場をつくる事や、事業所からテーマを出した参加型の情報交換会などができるように、職員で準備、学習していく</li> </ul>
3	地域の児童福祉の情報を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立の園との情報共有は密であるが、その他の縁の情報や環境など情報が乏しいが積極的に行動ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月のシフトと利用状況を出しているの見学に向けた事前調整と事業所の活動内容を検討し実施していく</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人万灯会 まさき園 児童発達支援			公表日		令和7年3月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・子どもたちがのびのびとした環境である	・人数が多い時は少し部屋が狭く感じる時がある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	・シフトで調整してもらえている。突然の職員の休みの日も協力している ・その日で職員配置を変えて対応している	・職員が休みになっても対応できる体制づくりが今後の課題 ・子どもの状態のことを思うと配置数が足りていないと感じることがある			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・黒板等に今日の日課を視覚的にわかるツールで説明している。個に合わせて必要な視覚的ツールを作成して支援している				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・ロッカー、黒板の角なども危険防止ができています	・ソフト面、ハード面の視点で安全の配慮を検討していく ・遊戯室北側に登る子どもが窓の開錠したり窓ガラスがわかれると怖いと感じる			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	・個別で使用できる部屋はあるが、1つである。また用途が様々でありその子の環境を設定している	・その都度環境を設定していく			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0		・多機能型で職員も児童発達、放課後等でサービスの担当職員のため、振り返りまでが行えない			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・毎年評価から改善に努めている				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・学習会を定期的に行っている。職員が発言できる機会を増やしてくれている ・カイゼン活動に取り組み改善点を職員で出して改善に取り組んでいる				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		・外部評価はとくに取り組んでいない			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		・職員全員が集まることは難しいが研修報告が共有できるようにしていく ・オンライン研修の視聴時間を設けてくれている ・研修内容によってはフィードバックしたいができていないので計画していく			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・お便りで伝えている				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・モニタリングの時期に保護者様の意見を聞いている				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・回覧で提示している	・共有はしているが、理解し支援に取り入れ周知しているかという部分は意識が必要である ・目を通して忘れることがあるので、各教室で閲覧できるようにしていく			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・クラス活動を合同にして立案する時間をつくっている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・同じ活動でも、注目する視点を変えて取り組み、評価、アレンジ、ステップの検討して提供できている ・毎日の活動をメモして振り返っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・勤務形態によって限られた時間や曜日によって職員が違うが最低限の話ができています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・クラスごとのミーティングで話し合う時間が多くとれている ・毎日クラス単位で振り返る時間ができている ・クラスミーティングになり気づきを共有できるようになった ・話し合い、記録から振り返っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		・アセスメントの見返しができていない ・様子として記録するのみで、評価、アセスメントができていない ・子どもアセスメント実施計画をたてて意識的に取り組むようにしていく
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		・なかなか記録を見返すことができない	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0		・地域の事業所と連携が取れているが全てではない。必要に応じて打診していく
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	2		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流したいと思うが現状、計画をたてるのが難しい</li> <li>・もっと交流が広がるようにしていく</li> <li>・未回答1名</li> </ul>
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での様子をお伺いして共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員との懇談会があってもよい</li> <li>・支援中になるべく話し共有している。クラスでは共有できたが全体共有が週末だけになり乏しく課題であるバランスよく報告できる方法を考える必要がある</li> <li>・未回答1名</li> </ul>
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・未回答1名</li> </ul>
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・未回答1名</li> </ul>
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談にて同意をいただいている</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に担任と話せる時間を増やせるように改善していく</li> <li>・面談が必要だと感じる方には送迎時の前に少し時間をとるなど工夫していく</li> </ul>
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・未回答1名</li> </ul>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任や上司へ報告をするようにしている</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信、掲示物で発信できている</li> <li>・2か月に1回機関紙「まさきえんだより」と毎月クラスの様子を掲示している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPでまさき園の写真や、活動の内容を発信していく</li> </ul>
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なつまつり「えんにち」でコンサートを催すなど工夫し地域の方におもてなしができるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多く地域との交流する機会が増えるとうよい</li> </ul>
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師による感染症対策を指導していただいたり、防犯訓練ではさす股を使った訓練を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族等へのマニュアルの発信ができていないため検討していく</li> </ul>
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しくはできていないが皆で理解できている</li> <li>・服薬については契約時や懇談時にお伺いしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策もふまえ予防接種の実施報告書などを検討していく</li> </ul>
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・訓練について話をしたり、機関紙で発信している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットを記録、全体会議で報告できている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		